

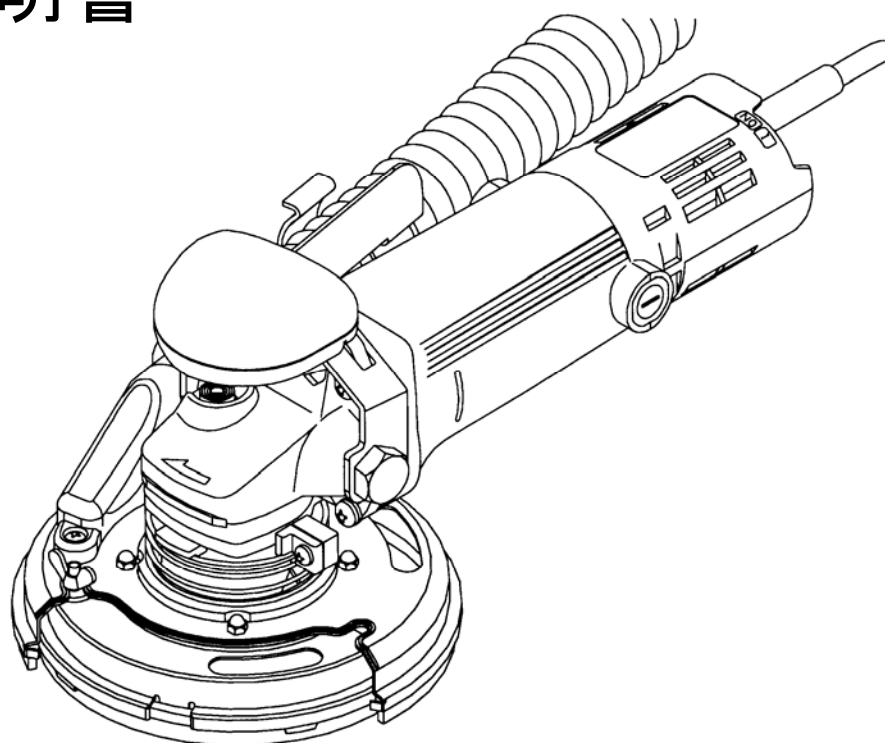
MITACHI

PROfessional TOOLS

サンコーミタチ
集じんカバー付100mmディスクサンダ

SD100XSK

取扱説明書



- このたびは、サンコーミタチ製集じんカバー付ディスクサンダをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになり、本機の性能などを十分にご理解いただき、正しくご使用くださいますようお願い致します。
- なお、この取扱説明書はお読みになった後、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

目次	ページ
● 安全上のご注意	1
● 使用上のご注意	5
● 製品仕様	7
● 標準付属品	7
● 各部の名称	7
● 用途	8
● ご使用前の準備	8
● ご使用前に	9
● 集じん機への接続方法	10
● 刃物の取付・取外	11
● ご使用方法	12
● 集じんブラシの取付・取外	13
● 保守・点検	14
● ご修理の際は	14
● サービスセンター一覧	15

☆ 注意文の「⚠警告」「⚠注意」「注」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」「⚠注意」「注」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 : 製品及び付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力にあった速さで作業してください。
7. 作業にあった電動工具を使用してください。
 - ・ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護メガネを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。
11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・使用しない、または、修理する場合。
 - ・刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外しであることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源コンセントにつないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の損傷、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。

- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、または電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

- ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書、および本機カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。

- ・修理は、必ずお買い求めの販売店、または電動工具サービスセンターにお申し付けください。

- ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

ディスクサンダ 使用上のご注意

先に電動工具ご使用上の一般的注意事項を述べましたが、ディスクサンダをご使用の際には、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ◆ 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電源で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- ◆ 材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
 - ・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
- ◆ 材料を手にとっての研削はしないでください。
 - ・ けがの原因になります。
- ◆ 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。特に始動時は気をつけてください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ◆ 水、研削液などは使用しないでください。
 - ・ 感電事故の原因になります。
- ◆ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - ・ 思わぬけがの原因になります。
- ◆ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ 研削粉や火花が飛び、けがの原因になります。
- ◆ 使用中は軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ◆ 木材に、釘や砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。
 - ・ 事故の原因になります。
- ◆ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
- ◆ 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷つきやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
 - ・ 火災ややけどの原因になります。
- ◆ 誤って落とした時やぶつけたときは、機体などに破損、亀裂、変形等がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

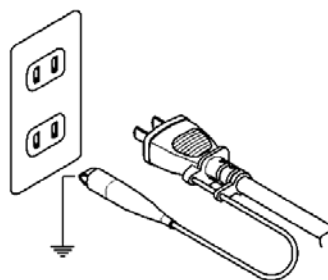
- ◆ 使用中、機械の調子が悪い時や異常音がした時は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、発火、感電の恐れがあり、けがの原因になります。
- ◆ 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
- ◆ アース線または漏電遮断器を必ず取り付けてください。

〔事業者の方へ〕

水など導電性の高い液体によって湿潤している場所、鉄板上、鉄骨上、定盤上等の場所で使用する場合、及び銘板表示200Vのグラインダについては、漏電遮断器に接続してご使用願います。上記の場所以外で使用する100Vのグラインダについては、図示のアースクリップに接続して確実に接地してください。確実にないと感電の恐れがあります。

関連法令 労働安全衛生規則（第333条、第334条）

電気設備の技術基準（第18条、第41条）



⚠ 注意

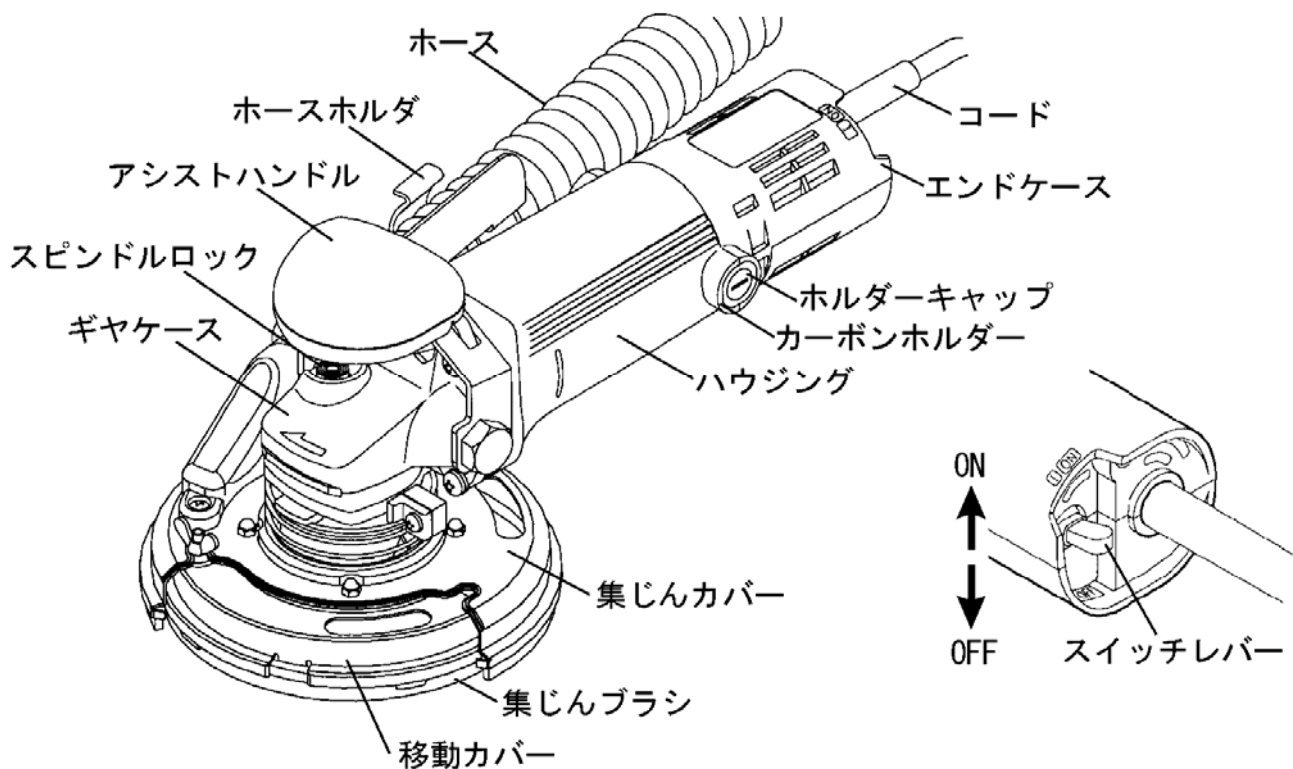
- ◆ サンディングディスクや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
- ◆ 試運転を行ってください。
 - ・試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
- ◆ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
 - ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- ◆ スwitchを切った後も、惰性で回転しているディスクに注意してください。
 - ・手などが触れると、けがの原因になります。

製品仕様

型式	SD100XSK
使用電源	単相交流50/60Hz
使用電圧	100V
入力	810W
全負荷電流	8.4A
無負荷回転数	12,000min ⁻¹
取り付け可能刃物寸法 (ダイヤモンドカップホイール)	外径100~110 台金厚さ2.5~5 穴径15mm

標準付属品	(専用) ディスクトメ	・・・1
	(専用) ディスクウケ	・・・1
	ジャバラホース	・・・・・・1
	100mm用ディスクスパナ	・・・・1

各部の名称



用 途

- ◆ コンクリート薄塗り工法のサンダー研削
- ◆ 防水、塗装の下処理
- ◆ 石材FRP等の研削

- * 取り付け方法については、『刃物の取り付け・取り外し』の項目をご覧ください。
- * 作業には、適した研磨材をお選びください。

作業前の準備

★ ご使用になる前に次の準備をすませてください。

1. 漏電遮断器の確認………

本機が接続される電源に感電防止用漏電遮断装置が設置されているか確認してからお使いください。

また、本機は必ずアース（接地）を行ってください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型漏電遮断器を設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全の為に接地されるようにお勧め致します。

2. 作業環境の整備・確認………

作業する場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

3. 延長コード………

電源コンセントの位置が離れていて延長コードが必要なときは、製品を最高の効率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

次の表は、本機に継ぐことのできるコードの太さ（公称断面積）とその最大長さを示します。

芯線断面積	銘板記載の定格電流値		
	5A以下	5～10A以下	10～15A以下
0.75mm ²	20m	—	—
1.25mm ²	30m	15m	10m
2mm ²	50m	30m	20m

(注) 上表は100V品の場合であり、200V品の場合には最大長さはこの2倍（以下）です。

延長コードは、アース（接地）できる3芯キャプタイヤケーブルをお使いください。

ご使用前に



ご使用前に次のことを確認してください。

1～6については、電源プラグを電源コンセントに差し込む前に確認してください。

1. 使用電源の確認

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモータの回転数が異常に高速になり、刃物や機体が破損する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることの確認

スイッチが入っているのを知らずに電源プラグを電源コンセントに差し込むと、不意に起動し思わぬ事故のもとになります。（7ページのスイッチ操作参照）

3. 集じんカバーの確認

集じんの為のものですから、取り外さずにご使用ください。
また、必ず集じん機と接続してご使用ください。（集じん機への接続方法参照）

4. 集じん機の確認

お使いの集じん機の吸い込みが弱いと研削屑がカバーより漏れることがあります。集じん機の清掃を行ってください。

5. スピンドルロックの確認

ディスク交換後は、スピンドルロックが確実に戻っていることを確かめてください。

スピンドルロックが確実に戻っておらず、スピンドルが固定されたまま使用されますと、破損の原因になり大変危険です。

注 回転中には、スピンドルロックボタンを押さないでください。また、スピンドルロックボタンを押したままでスイッチを入れしないでください。

6. 試運転を行う



警告

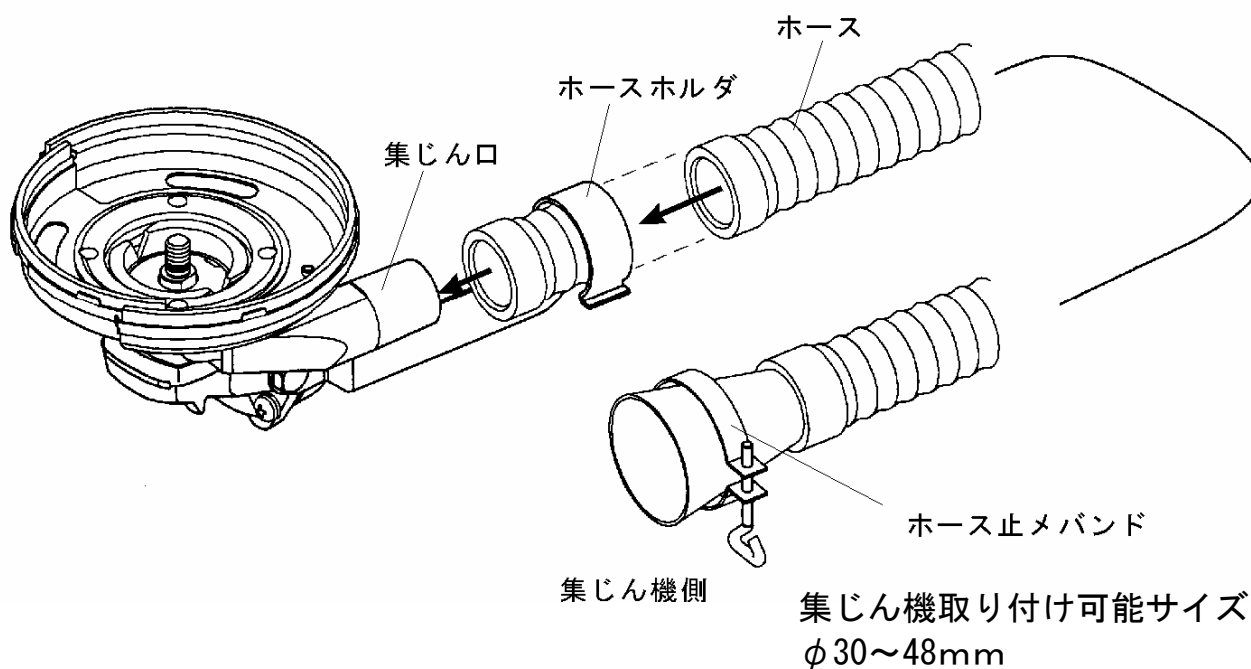
・本機のスイッチを入れるときは、本機の回転部が加工材などに接触していないことを確認してください。

作業前に人のいない方向に刃物を向け、必ず試運転を行って異常がないことを確認してください。

試運転時間は……

その日の作業開始のとき…………… 1分間以上です。

集じん機への接続方法



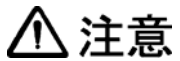
1. ホースホルダを通らせたホースを集じんカバーの集じん口に差し込みます。
 - ・ホース差し込み時には、集じん口をしっかり持ち、差し込みを行ってください。
2. 接続する集じん機側には、もう一方を付属のトメバンドにて、しっかり固定してください。
3. 取り外す場合は、取り付けの逆の手順で行います。

刃物の取り付け・取り外し



警告

万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。

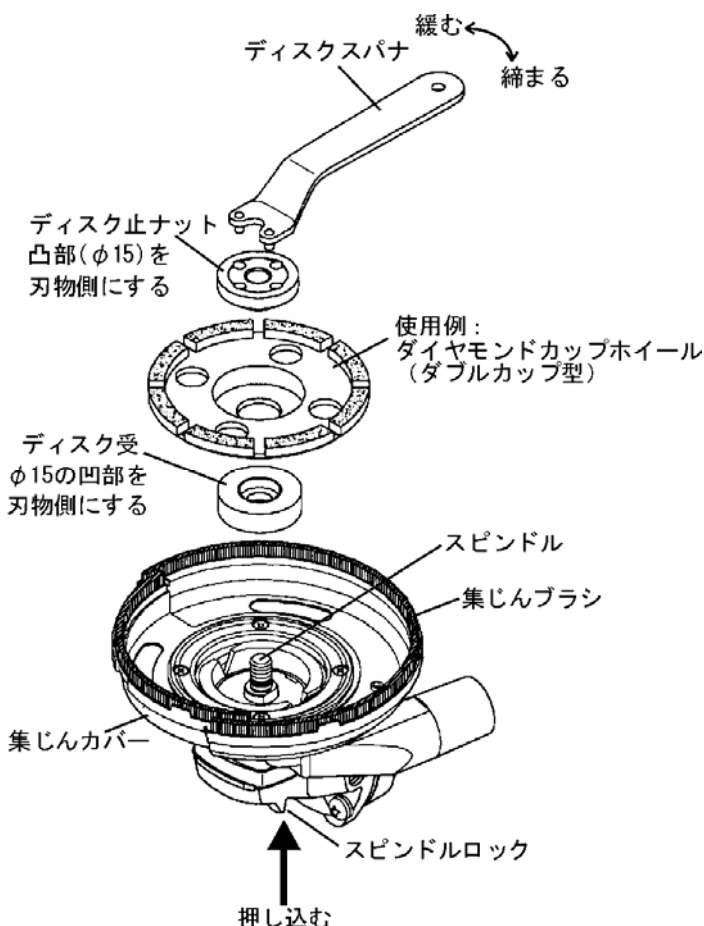


注意

ディスク止ナットは、必ず付属のディスクスパナを使って十分に締め付けてください。
ディスク止ナット、ディスク受は、付属の専用品を必ず使用してください。刃物と集じんカバーが接触して、集じんカバーの損傷の原因になります。



注 スピンドルロックボタンを押して離れたときに、確実に戻ることを確認してください。



1. 取り付け方

- 1) スピンドルを上に向け、スピンドルにディスク受、刃物、ディスク止ナットの順に取り付けます。
- 2) ディスク受は、 $\phi 15$ の凹部を刃物側にしてスピンドルに取り付けます。
- 3) ディスク受の上に刃物を取り付け、ディスク止ナットの凸部を刃物側にしてスピンドルに取り付けます。
- 4) スピンドルロックを押してスピンドルを固定し、ディスクスパナでディスク止ナットを十分締め付けます。

2. 取り外し方

刃物を取り外す場合は、上記の取り付けと逆の手順で行います。

ご使用方法



- ・ 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- ・ 使用後はスイッチを切り、回転が完全に止まってから機体を置いてください。
回転が止らぬうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。

1. スwitchの操作

スイッチは、スイッチレバーを” ON ” に倒すと始動し、” OFF ” に倒すと切れます。（7ページのスイッチ操作参照）

2. 作業時の注意

始動後、回転が一定になってから作業を始めてください。



・ 集じんカバーは、石材及びプラスチック材、木材用です。
それ以外（火花が出る様なもの）に使用しますと、集じんカバーの損傷の原因になります。

- ・ 本機を強く押しつけますと仕上がりがきたなくなり、またモータの損傷の原因にもなりますから、軽く当てる程度でご使用ください。

3. 進め方

サンディングディスク、フラップディスクは、全面を被研磨面に当てないで約15° 傾けた状態でご使用ください。

4. 使用後の注意

使用後はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。回転が止らぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがあり、サンダの寿命を早めたり、事故の原因となりますのでご注意ください。

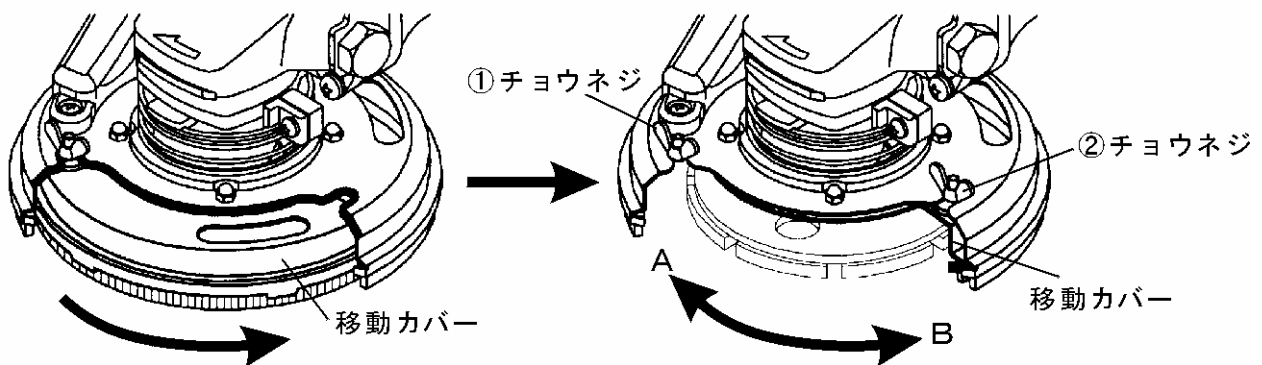
移動カバーの開閉



警告

万一の事故を防止するため、移動カバーの開閉時には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。

集じんカバーは、移動カバーを開くことにより、コーナー部（壁際部）の研削が可能です。



1) 移動カバーの開閉方法

1. 開く場合

- ① チョウネジを緩め、AからBへ移動カバーをスライドさせます。
- ② チョウネジの位置でチョウネジを締め、移動カバーを固定します。

2. 閉じる場合

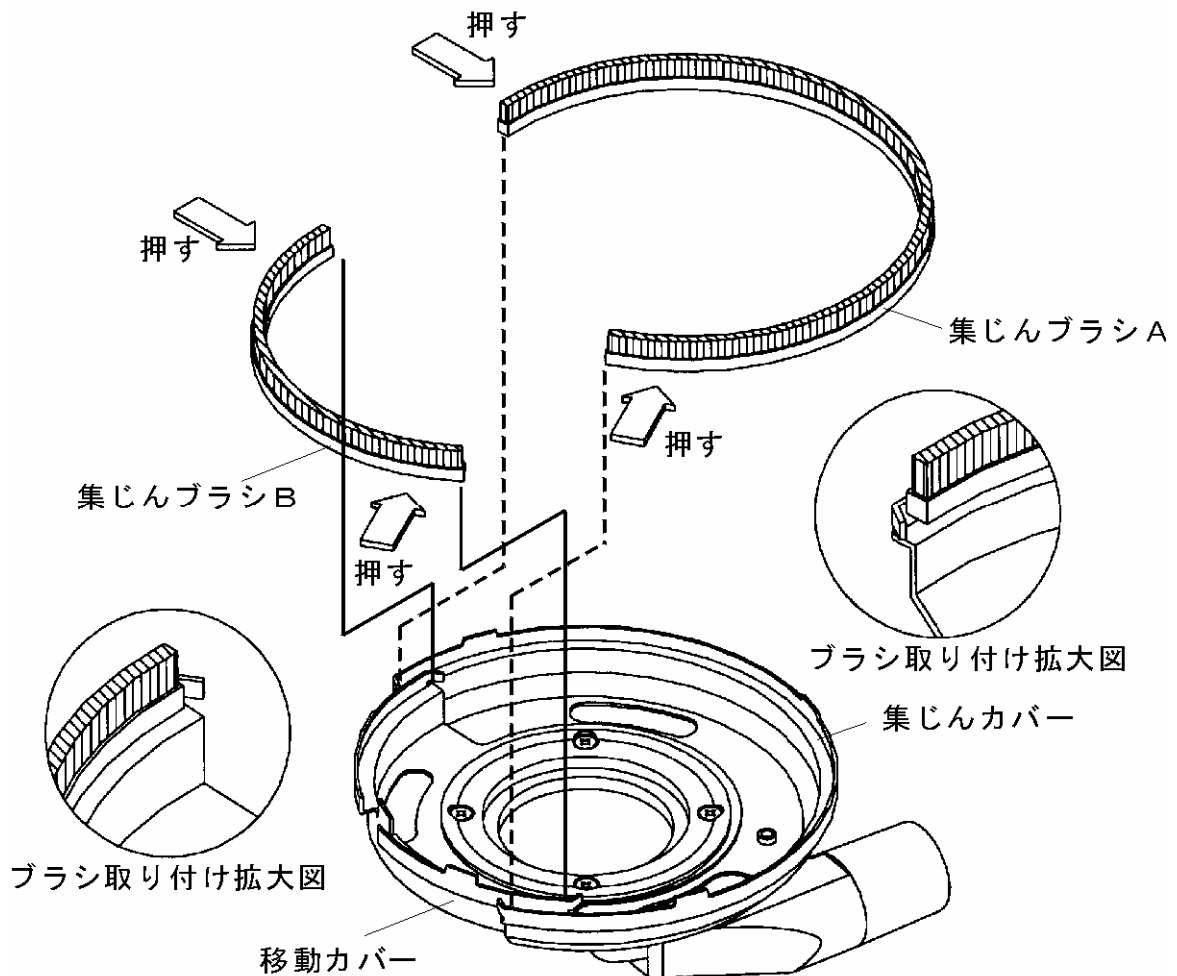
移動カバーを閉じる場合は、上記の逆の手順で行います。

集じんブラシの取り付け・取り外し



警告

万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。



1. 集じんブラシAを矢印の方向に力を加え、変形させながら集じんカバーに挿入します。
2. 集じんブラシBを矢印の方向に力を加え、変形させながら移動カバーに挿入します。
3. 取り外す場合は、取り付けの逆の手順で行います。

保守・点検



警告

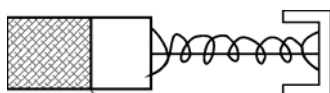
点検、手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。

1. 各部ネジ点検……

各部取り付けネジで緩んでいる箇所がないかどうか定期的に点検してください。もし緩んでいる箇所がありましたら締め直してください。緩んだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

2. カーボンブラシの点検……

モータ部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モータの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度になる前に新品と交換してください。



摩耗限度線

また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、カーボンホルダー内で円滑に動く様にしておいてください。

〔ご注意〕新品と交換の際は必ずサンコーミタチ純正のカーボンブラシをご使用ください。カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでホルダーキャップを外しますと取り出せます。

3. モータ部の取り扱いについて……

モータ部の巻線部分にキズをつけたり、ゴミ・油・水等をつけたりしないよう十分注意してください。



モータ内部にゴミやほこりがたまりますと、故障の原因となります。定期的にモータを無負荷運転させて、風取り入れ口の風窓からエアガンなどで湿気のない空気を吹き込みますと、内部のゴミやほこりの排出に効果があります。

4. 製品や付属品の保管

使用しない時の製品や付属品の保管は、安全で乾燥した直射日光の当たらない場所に保管してください。

ご修理の際は

重要：本機は厳密な精度で製造されています。従いまして、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店・弊社営業所、または最寄りのサンコーミタチサービスセンターにお申し付けください。

サンコーミタチ サービスセンター

安心と信頼のミタチ電動工具サービス網

■指定サービス店

地区	会社名	住所	TEL	FAX
札幌市	(株)拓進産業	札幌市白石区中央2条5-1-10	011-811-4421	011-814-8177
仙台市	(有)仙台機器サービス	仙台市泉区上谷刈1-2-7	022-373-3757	022-373-3583
茨城県神栖市	タカナ実工業所	茨城県神栖市知手4381-5	0299-96-2787	0299-96-2787
宇都宮市	(有)町井工研	宇都宮市下平出町82-7	028-662-8973	028-663-6769
群馬県玉村町	前島工機	佐波郡玉村町大字五料1058-1	0270-65-5313	0270-65-5313
埼玉県上尾市	(株)八潮 埼玉支店	埼玉県上尾市原市中3-7-2	048-720-7770	048-720-2004
千葉市	(有)神田商会	千葉市中央区蘇我3-32-42	043-264-7502	043-264-7502
東京都葛飾区	(株)シンワ産業	葛飾区細田5-16	03-3673-1334	03-3673-1343
東京都大田区	(株)八潮 本社	大田区仲六郷2-40-4	03-3733-9320	03-3733-9336
東京都大田区	(有)シンワ電機	大田区西糞谷2-20-24	03-3744-3735	03-3744-6275
静岡市	駿河機工	静岡市清水七ツ新屋513-1	0543-45-2906	0543-45-9102
大阪市	(有)タニモト商会	大阪市西淀川区御幣島2-19-3	06-6471-2476	06-6478-5552
高松市	愛神電機(株)	高松市三名町739-7	087-866-3411	087-866-3412
北九州市	(有)電動機器メンテ	北九州市戸畑区幸町9-21	093-861-2700	093-861-2705
長崎市	(有)原電機	長崎市三原2-5-27	095-845-5027	095-845-5070

■エリアサービス店

北海道地区		TEL	FAX				
江別市	北海道機器サービス(有)	011-386-6562	011-386-7878	富山市	東仙電機製作所	076-421-4210	076-421-4210
東北地区				松本市	(有)エコー酸電	0263-35-4839	0263-36-9678
弘前市	(有)弘前ニューマチック	0172-87-3871	0172-87-3799	松本市	(有)エヌケーサービス	0263-78-2608	0263-78-5569
秋田市	(有)成田電機サービス	018-845-3566	018-846-7769	関西地区			
北上市	(有)北上テクノサービス	0197-66-6327	0197-66-6327	大東市	竹好商会	072-875-6860	072-875-6861
いわき市	(有)常磐エンジニアサービス	0246-44-4070	0246-44-4070	堺市	宏洋商会	072-252-3073	072-252-7122
山形市	(株)朝倉電機	023-681-7327	023-681-7328	尼崎市	笠村電動サービス	06-6493-1912	06-6493-1915
関東地区				彦根市	(株)彦根電機製作所	0749-22-1654	0749-22-1655
北本市	(有)田中電機工業	048-591-0230	048-591-0849	大田市	山田商会	06-6962-6088	06-6962-6026
東京都北区	福島電機商会	03-3914-1253	03-3914-1253	神戸市	松田電機サービス	078-577-3184	078-577-3174
西東京市	(有)金子機電	042-463-2918	042-463-2721	神戸市	明和電機商会	078-975-4850	078-975-4851
横浜市	(有)東海電機工業	045-491-2681	045-481-2749	播磨町	(株)丸池機工	079-437-0056	079-437-0059
秦野市	ハタノ建機産業(株)	0463-82-7101	0463-82-7007	有田市	菅野電機商会	0737-82-5912	0737-82-3670
藤沢市	(有)東海電機工業	0466-49-5070	0466-48-3103	中国・四国地区			
東海・信越・北陸地区				浅口市	ヘンミ興業	0865-44-4691	0865-44-4691
名古屋市	ヨシムラ電機	052-881-9949	052-881-9949	周南市	三和電機工業所	0834-28-0512	0834-28-2081
名古屋市	広栄社	052-805-8878	052-805-8887	徳島市	(有)橋本利電業社	088-631-9203	088-631-9205
四日市市	(株)城山商会	059-331-6998	059-331-3174	九州地区			
富士市	駿河商事	0545-36-2135	0545-36-2136	春日市	新栄商会	092-574-2626	092-574-2916
新潟市	(有)新和産業	025-269-3323	025-268-6934	熊本市	(有)内山電機サービス	096-364-3785	096-364-3742

サンコーミタチ株式会社

〒390-1243 長野県松本市神林7107-34（臨空工業団地）
TEL (0263)40-0600(代) FAX (0263)40-0622
ホームページ <http://www.sanko-mitachi.com>

* 製品および付属品は、改良のため仕様や外観を予告なしに変更することがあります。

A